

かさま 社協だより

No.43



編集・発行 2020.12.17

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



笠間高校



友部高校

シトラスリボンを作っていたいただいたJRC部の皆さん

も
く
じ

- ① 「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちに
シトラスリボンプロジェクトinかさま 2
- ② おおこ 大郷戸サロンの産声・サロンde五平オープン..... 3
- ③ こども食堂 4
- ④ 在宅福祉サービス 協力会員募集 5
- ⑤ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑥ お知らせ 8



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちに

シトラスリボンプロジェクト in かさま



笠間高校

シトラスリボンの作り方を教えるに来てくださり、ありがとうございました。地域の方たちとの交流もとても楽しかったです。私たちが作ったシトラスリボンが、市民の皆さまに広がっていくことを願っています。

笠間高校 3年 三宅 諒

シトラスリボン運動をご存じですか？ コロナ禍で生まれた差別・偏見を耳にした愛媛県の有志が作ったプロジェクトで、シトラス色のリボンを身につけて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動です。

あるシトラスリボンは、愛媛県名産である柑橘をイメージしたシトラスカラーで、3つの輪は「地域」「家庭」「学校や職場」を意味しています。それぞれの場所やつながり、安心・安全が守られるまちをつくろうという願いが込められています。

コロナの偏見をなくして
誰もが暮らしやすいまちに

赤い羽根
共同募金

笠間市社会福祉協議会ではこのプロジェクトに賛同し、県立笠間高校・県立友部高校JRC部に協力を求めたところ、こころよく引き受けていただきました。両校では「今地域のためにできることを」と、リボンを一つひとつ心を込めて製作してくれました。

コロナウイルス感染症の拡大防止や経済対策は大切なことですが、忘れてはいけないことは、たとえウイルスに感染しても地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さです。シトラスリボンの輪が広がることで、コロナ禍であっても、やさしい気持ちで毎日を過ごせるのではないのでしょうか。

当たり前だった毎日を当たり前にするために、「ただいま」「おかえり」を心から言い合える『ひとの輪』を笠間市に作りましょう。



友部高校

リボンづくりを通して、リボンの意味を深く学ぶことができました。このリボンから、人とのつながりが増え、多くの人が助け合いながら生きていける世の中になってほしいと思います。

友部高校 1年 寺島 力斗

9月新設

大郷戸サロンの産声

代表 高野 紀子

仏頂山の山麓、人口3000人有余の小さな山間の集落にボランティアの協力のもと「大郷戸サロン」を素建てる事が出来ました。私の尊敬する先輩が友部地区にて「居場所作り」を目的に活躍されて居る様子を伺い深く感銘を受けました。独り生活、或いは事情によりひとりで過す時間が長い方等に、一時でも多くの人達とふれ合い、気楽に歓談出来る機会を作れたらと、有志の方々と協議の上、社協の御指導を受け、9月初め巢立ちの運びとなりました。



多いに楽しむ事が出来ました。人生100年と云われて久しい今日、私も八十路を迎へ物忘れに困惑の毎日ながら前向きに頑張つて行きたく、日頃お互い気にかけて合う関係を大事にし、支え合う気持ちを育んでいければと思つて居ります。最後に本紙をお借りし地元区長、民生委員、ボランティアの方々の御支援、御協力に改めて感謝申し上げます。

10月新設

サロンde五平オープン

代表 菱沼 征一

社協東支部の管内では初めてのふれあいサロンが、10月12日、五平地区の五平公民館を会場にオープンしました。この日は年配者を中心に約20人がマスク姿で参加。開所式の後、久し振りの談笑やトランプゲームにしばしコロナ禍の憂さを忘れました。東支部を通して、五平地区にサロン開設の話が持ち上がったのは今年1月。ご多聞にもれず少子高齢化が進む中、顔の分かり合える関係づくりやお年寄りの閉じこもり防止などは、地区でも共通の話題となるものでした。



そこで2月に入り、社協の協力のもと、関係する5区の区長や各団体の代表者に呼びかけて説明会を開催。①五平公民館で月1回の定期とする②名前は「サロンde五平」とする③推進のために運営委員会を発足させるなどが、その場で決定しました。その後、自粛自粛で延び延びとなったサロンづくり。改めて、オープンして良かったと思える一日でした。

笠間市社会福祉協議会広報委員会

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

氏名	地区	氏名	地区
入江 勇太	笠間 ◎	藤森 博夫	友部
○ 飯野千賀子	笠間	高野 康司	友部
○ 関 令子	友部	堀 敦子	友部
白土 昌夫	友部	石郷岡 誠	岩間
吉田 正次	友部	畠山 好文	岩間

◎は委員長 ○は副委員長



ある日の広報委員会

笠間市社協 広報委員会紹介

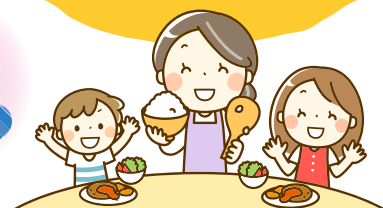
当委員会是一般市民で構成されており、社協と市民の架け橋として、誌面を通じて誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指しています。(入江)

地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

コロナにも 負けない絆 地域から (SFGさん)

こども食堂

食からつながる
こどもの未来



はらぺこ

- 開催日 月1回(土・日・祝日のいずれか)
- 時 間 11時30分～13時30分
- 場 所 地域福祉センターともべ
(笠間市美原3-2-11)
- 料 金 幼児：無 料 子ども：100円
大人：200円

コロナ以前が
懐かしく、収束
を願うばかりです。
ただ今、スタ
ッフ一同で美味
しいお弁当を作
っています。



※現在、テイクアウト方式

たんぽぽ



- 開催日 月2回(毎月第1・3木曜日)
- 時 間 17時～ ※無くなり次第終了
- 場 所 地域交流センターともべ「Tomoa」
(笠間市友部駅前1-10)
- 料 金 1食：200円

地域の皆様から
お米・野菜・調味
料等のご協力をい
ただき、季節感
を取り入れたメ
ニューを提供して
います。



※現在、テイクアウト方式



わいわい広場

毎月第4日曜日(10時～13時)に地域交流
センターいわま「あたご」を会場に活動してい
ましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため
に3月から活動を休止しています。

今後は子ども会をはじめ関係機関と連携を
図りながら、新たな形態での事業展開を模索して
いるところです。

わいわい広場
が再開した折に
は、多くの皆さ
まのご参加をよ
ろしく願いま
す。



※コロナのため休止中

グリーン食堂



- 開催日 月1回(毎月第4木曜日)
- 時 間 17時～19時
- 場 所 ケアハウスかさま
(笠間市石井甲32-1)
- 料 金 1食：200円
- 電 話 0296-70-1100

地域にお住まい
のお子様から高齢
者まで、幅広い世
代の方々の交流が
図れます。



※現在、テイクアウト方式

地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

ステイホーム 誰かの声かけ 必要です (トザンさん)

在宅福祉サービス 協力会員募集

在宅福祉サービスの活動をご存じですか？

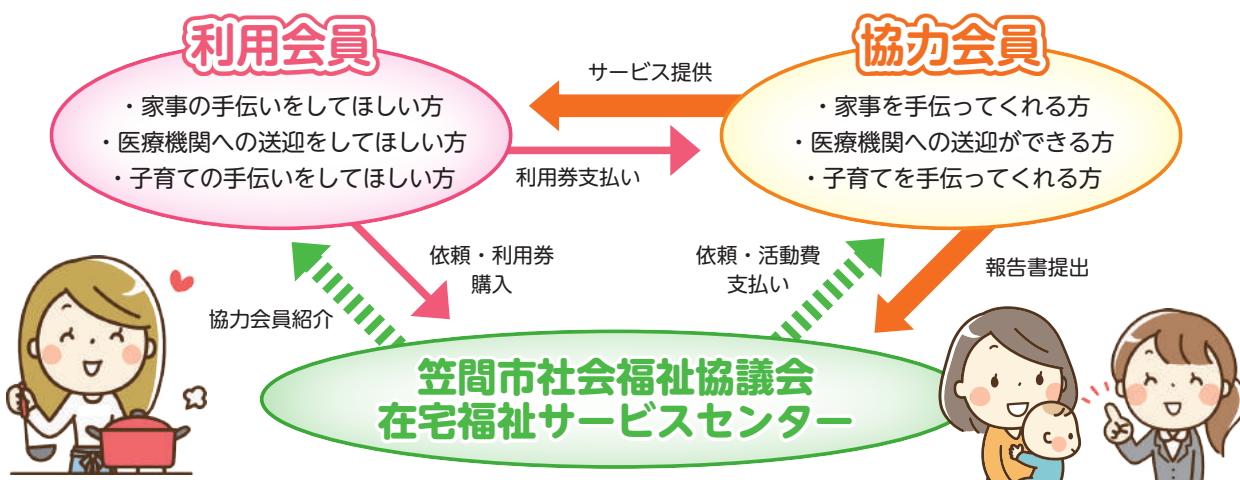
在宅福祉サービスとは、「困った時はお互いさま」の精神で、地域に住む人が安心して生活ができるように家事や育児などの手伝いをする有償サービスです。

現在社協では、協力会員になってくださる方を募集しています。掃除・洗濯・調理などの家事全般や、病院への送迎や付き添い、子育ての手伝いなどをしていただける方、是非とも在宅福祉サービス活動の担い手としてご協力ください。

あなたの空いている時間を地域の助け合いに役立ててみませんか？

※移送サービスの活動は、講習会に参加し、修了証を受け取ってからとなります。

在宅福祉サービスのしくみ



お問い合わせ
お申し込み先

在宅福祉サービスセンター TEL 0296-78-3939

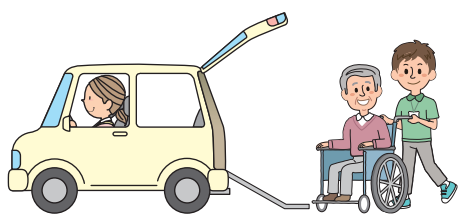
利用会員の声

ケアマネジャーの紹介で平成30年2月から家事援助と移送サービスの両方を利用しています。

私はこのサービスがなかったら病院に行けないし、生きていけないと思っています。掃除は自分の思った通りにやってもらっているの、気分も気持ちいいです。毎回楽しみに待っています。困っている事を事務局に相談でき、対応してもらえて助かっています。

(S) 介護認定を受けてから、このサービスを紹介され、早1年になります。

今は病院の送迎で、週2回お世話になっていきます。いろいろな方がかわってくださるので感謝しています。



協力会員の声

私は平成6年から協力会員として活動しています。もう26年生です。

家事支援では主に掃除や買物・病院内での付き添い、話し相手などを体験していい勉強になっています。また病院への移送サービスも数多く行ってきました。利用者さんから感謝されることでやりがいを感じています。これからも出来る範囲で続けていけたらと思っています。

(A) 活動を始めて20年以上たち、その間多くの人とかわってきました。短期の人や10年以上もかわっている人など、様々な人達との出会いや、協力会員の仲間、事務局との繋がりが、日々の生活に張りを与えてくれます。元気に働けることもありがたいです。これを忘れず、人との繋がりを大切にしたい、今後も活動していきたいです。



センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では「ゆび編みマットづくり」を、「わくわく体験教室」では特別企画の「ヒップホップ教室」を開催しました。おとも子どもも待ち望んでいたかのように、募集人数を超える申し込み。講師の粋な計らいで全員の希望が叶えられました。

「女性の食事づくりボランティア講座」と「蕎麦打ちボランティア講座」がそれぞれ実施されました。

コロナ禍にあっても、待っていてくれるかたのために活動を継続してきたボランティアサークルを紹介します。

10/6

「第一火曜日の会」

ゆび編みマットづくり

30人参加

本年度はじめての「第一火曜日の会」を10月6日に地域福祉センターともべA館で行いました。

募集人数20人に対して30人以上の申し込みがあり、指導者の東支部宮前鴻巣ブロック女性部4人の協力で午前、午後、2回行い申込者全員が参加することができました。

参加者の声

● 久しぶりに皆に会えること、ゆび編みに興味があつたので早速申し込みました。

靴下のハギレをリサイクルして活用していることにも、何か社会貢献している感じがしました。ダンボールいっぱいハギレを整理し、準備をしていたことにも感謝しています。

● はじめて「第一火曜日の会」に参加しました。最初は見当もつかなかったのですが、丁寧に教えていただき、形になってほっとしました。

マットだけでなく、このハギレを工夫、応用してみたい、楽しみが増えました。

(旭町K)



社協2階の憩いの場

この機会に数名の方が、ボランティアとしてマットを作ってくれることになりました。

日ごろ皆さんが利用しているソファの座ぶとんを、明るくリニューアルすることができました。



11/14

【特別企画】わくわく体験教室 チャレンジボランティアスクール

ヒップホップ教室



友部第二小 一年 N

ダンスは初めてで分からない事もあったけど、楽しくできて良かったです。またやってみたいです。



笠間市内の児童を対象に「ヒップホップ教室」を地域交流センターともべ（トモア）を会場に開催しました。参加者は、午前・午後の部と合わせ44人。講師はイチ（市之瀬正樹）先生で国内外のダンスバトルで優勝経験をもつダンサーです。

この教室は、コロナ禍で環境の変化のなか生活している児童の皆さんに、「心とからだを健康に」笑顔で時間を過ごしてもらうこと、またシニア体験用具を装着し、ダンスを通して福祉体験をすることが今回の教室の大きな目的です。ダンスが初めての児童も、イチ先生のダンスの魅力に引き付けられ自然に体がリズムを刻み笑顔になっていくのが印象的でした。

岩間第一小 一年 R

初めてダンスをして楽しかったです。おばあちゃんの気分になりました。先生のダンスの動きが早くてびっくりしました。ダンスが大好きです。

地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

もう一歩 小さな勇気が 助け合い

(サチーナさん)



蕎麦打ち講座

ボランティア

住みよいまちづ

令和2年度の講座がはじまりました

今年度も初心者向けの「そば打ち講習会」が社会福祉協議会主催で開催されました。新型コロナウイルスの渦中で心配されましたが、熱心な受講者5人が参加されました。「そば」を介してボランティア活動をしている「笠間麺友会」会員の指導で1日2回の実践を行いました。自分で打った「そば」を試食で感心し、又、家族へのお土産は大変喜んでくれたそうです。ボランティア



活動についても参加の表明があり、今後が楽しみです。

蕎麦打ちボランティア養成講座

10/28(水)・11/4(水) 地域福祉センターともべA館

麺友会会長 池田 和輔



メインは鶏の南蛮漬け

3回の開催で、11人の参加者となりました。講座を受けていただいた方々の感想は「今回は、配食サービスは、ひとり暮らしの方に手作りのお弁当をお届けしています。ボランティアの皆さんには作る楽しみの体験の場となればと思っています。」

女性の食事づくりボランティア講座

10/22(木)・11/5(木)・19(木) 地域福祉センターいわま

栄養士 田中 朋子

今年度4月からボランティアアセンタールの栄養士として、勤務することとなり、初めて担当する講座となりました。

受講してみても初めて社協の配食サービスという事業を知った「みんな調理をして、とても楽しい時間が過ごせた」など、配食サービスの事を知っていただき、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

コロナのなか

今できることからはじまりました

待っている人がいるから

三六の会代表 太田 寛子

これからも笑顔で楽しく

お届けします

むぎがえ代表 木村 実

今思えば3月頃に社協の方からコロナ禍のため、活動中止の連絡がありました。

私達「三六の会」は市内の視覚障がい者に、毎月広報誌を点字にして送っておりますので、まず第一に「どうしよう、送れなくなる...」。毎月のことですので先方の方々も待つていくのださるのではありません。事務局と相談をしながらはと思っています。

「点字」と「声のたより」は活動して

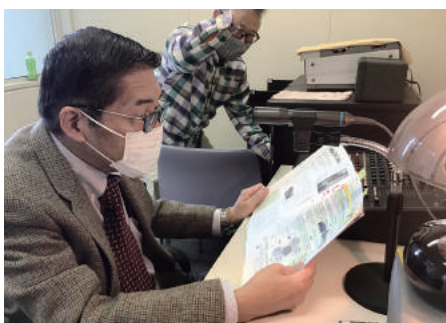
も良いとの連絡があり、ほっとし、全員マスク着用、少しでも体調が悪い時は出席しないこと。会議室は広く使うこととで現在に至っております。

おかげ様で毎月、滞りなく

利用者の皆さまの皆さんに届けることができ、とても安心しています。



パソコンで点訳



マスク着用のまま録音

私達6人は「広報かさま」「議会だより」「週報」をテープに収録して視覚障がい者に届ける活動をしております。コロナ禍による全サークル休止の中でも休むことなく、狭い録音室で長時間の悪条件のなか、三密にならない工夫をし、マスク着用のままでの録音となりました。聞きづらくところもあるかもしれませんが、心をこめてこれからも笑顔で楽しく広報誌をお届けいたします。

地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

「元気だよ」電話の向こうの 弱い声

(ふつうのおばさんさん)



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和2年7月1日～令和2年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

●**エコキャップ、使用済み切手など** グループホーム花木水、ひまわり館、(有)伊藤石材工業、(有)笠間給食センター従業員一同、(有)紫芳書院、(有)島田自動車、ありんこ、イチカワユニオン岩間支部、いなだこども園、おしのべ保育園、こじか幼稚園、スガハラ(株)、すみれこども園、ともべ幼稚園、ひまわり保育園、みか保育園、やまざくらボランティア、旭エスケービー(株)、稲田小児童クラブ、退職公務員連盟笠西支部笠間班、岡本興業(株)、額田義文、笠間工芸の丘、みなみ学園児童クラブ、笠間陽だまり館、(株)DCI、(株)美鈴、関鉄水戸タクシー(株)、岩間第一小学校、岩間第一小児童クラブ、岩間中学校、橋本文知、県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)、高齢者クラブ旭台睦会、高齢者クラブ原宿会、持丸一幸、(福)尚生会、泰栄電器(株)、退職公務員連盟笠西支部友部分会、大原小児童クラブ(ポプラの会)、大沢保育園、第一生命保険(株)、不二製油(株)関東工場、物井彩雲、明治安田生命笠間営業所、県立友部高等学校JRC部、友部自動車学校、友部小学校、友部小児童クラブ、友部小学校児童会、友部第二中学校、いわま保育園、めぐみこども園、松島製菓(有)、岩間郵便局、土師地区社会福祉協議会、日吉町区、小松崎建設(株)、退職公務員連盟笠西支部岩間分会

●**食品・日用品など** 久保田美鈴、酒井文明、東町2区1班、アイモールイチカワ、笠間シルバーケアセンターパル、第一生命保険(株)、匿名

金 銭

やまざくらボランティア	4,000	(故)片山 まさ	100,000
上加賀田支部「まなだけ会」	6,000	匿名	41,831
(有)笠間給食センター 従業員一同	4,875		

第8回 笠間市社会福祉大会

日時：令和3年2月11日(木) 13:30～ 場所：笠間公民館大ホール

内容：式典(顕彰)と講演会

演題 「災害に強いまちづくりは互近所の力 ～隣人と仲良くする勇気～」

講師 防災システム研究所 所長 山村 武彦氏

※コロナ感染症の状況等で中止する場合があります。



お詫びと訂正

令和元年度共同募金運動の報告について、「岩間地区戸別募金」に誤りがありました。お詫びを申し上げるとともに訂正いたします。

赤い羽根

●日向	
【誤】	0円
【正】	5,500円
●日向内	
【誤】	3,500円
【正】	8,000円



災害ボランティアセンターの 設置・運営等に関する協定

令和2年11月5日(木)、笠間市と笠間市社会福祉協議会は、『災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定』を締結しました。

笠間市の災害時における笠間市災害ボランティアセンターの設置及びボランティア活動を円滑に実施するための役割と協力事項、費用負担等を定め、被災者の生活支援に寄与することを目的とします。(注)

編集後記

3密回避で会議が開けず事務局の方に作っていただいた前号。今回やっと広報委員10人(3頁・全員留任)と事務局の方4人で作ることができました。年3回発行、2年間の任期の始まりです▼自粛生活の長期化でフレイル(虚弱)健康と要介護の中間状態)の人が増えているのではないのでしょうか。散歩や軽い筋トレなど、無理のない範囲で体を動かしましょう。

(藤森)

心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)

時間：13:00～16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
1月	12日・26日	13日・27日	7日・21日
2月	9日	10日・24日	4日・18日
3月	9日・23日	10日・24日	4日・18日
4月	13日・27日	14日・28日	1日・15日

(注) 災害ボランティアとして活動する際は、居住地の社協でボランティア活動保険に加入してから活動しましょう。